

ひかりの丘

第87号

2010.2.12

社会福祉法人いわき福喜協会
福島整肢療養園
〒970-8001
福島県いわき市平上平座
字古館1番地の2
TEL.0246-25-8131
FAX.0246-22-1259
<http://www.ryogoen.jp/>
E-mail:info@ryogoen.jp



クリスマス祝会



園内のクリスマス会が希望館(リハ棟)を会場に12/18(土)に開催されました。キャンドルライトサービスや、ボランティアさんによる演奏、おいしい食事、プレゼント...etc。楽しい一時はあっという間に過ぎてしまいました♪♪



CONTENTS

クリスマス祝会 — 1

特集：病棟の活動・取り組み — 2・3

新年の御挨拶 園長 松沢俊郎 — 4

「ねもの木賞」を受賞して — 4

Happy 通信 — 5

りょうご園についてご存知ですか? — 6

スタッフ通信 事務 渡辺コウ子 — 6

第一病棟

「あ、危ない!!!交通ルールを守ろう」

主に幼児から高校生までが生活する第1病棟では、車椅子・電動車椅子の使用が多くなりいろいろな問題が生じています。そこで、現状を改善するために行っている「交通ルールを守ろう」の取り組みをご紹介します。

Q：研修広報委員・A：1病棟職員交通安全係

Q

「交通ルールを守ろう」の取り組みのきっかけはなんですか？

A

1病棟では車椅子・電動車椅子の利用者増加に伴い、車椅子・電動車椅子のスピードの出し過ぎや他者との接触などの問題が生じていました。

道路交通法では車椅子及び電動車椅子にも交通ルールがあります。子ども達・職員にもルールを知ってもらうことでトラブル発生を減少させるために取り組みを始めました。

Q

取り組みの対象はどのような方ですか？

A

病棟では全員が車椅子・電動車椅子・バギーを所持しています。その中で、自分で操作の出来る5名の小・中学生を中心に取り組みを開始し、現在は9名の小・中学生が対象となっています。

Q

どのような取り組みをしましたか？

A

次に挙げる4つの取り組みを行いました。
①子ども達の現在の訓練（リハビリ）内容の把握、また日頃の車椅子等の操作方法の再確認
②リハ工学士の協力による、職員の電動車椅子試乗・操作体験
③試乗・操作の中で危険と思われた場所や子ども達の目線にあわせた交通標識等の設置、環境調整
交通標識…「止まれ」「足形止まれマーク」「減速」など
④運転免許証カード作成・交付

Q

取り組みの中で難しく思ったところはどんなところですか？

A

子どもの目線にあわせたミラーの取付け時の角度調節が難しかったです。交通標識の種類・枚数が多く苦労しました。

Q

取り組み後の効果はありましたか？

A

環境調整を行い、運転免許証カードを発行し評価することで子ども自身が「右側通行」を意識することができ、他者との接触がみられなくなりました。

また、職員も日頃何気なく見過ごしていた車椅子・電動車椅子の操作への観察意識が向上しました。

Q

今後の取り組みはどういったことを考えていますか？

A

次の4点を考えています。
①安全走行教育・指導の継続
②交通ルールの学習（職員も含む）
③運転免許証カードの活用・評価の継続
④園内全体への環境整備の拡大

第一病棟から中央廊下へ



病棟を出る前には足形のとまれマークがあり、その先には希望館（リハ棟）に向けて横断歩道があります。

とまれ

中央廊下から第一病棟へ



止まれ

減速

病棟西側

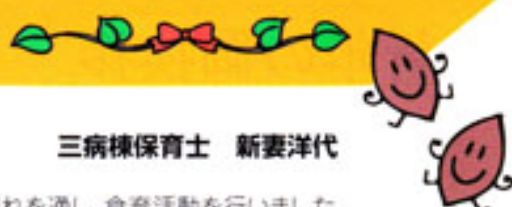


子どもたちに交付している療護園オリジナル免許証



子ども達が安全に走行・歩行できる様、お互いが交通ルールを守り事故防止に努めていきたいものです。今後の取り組みにもご期待下さい!!!

動・取り組み



第三病棟

病棟行事を振り返って

三病棟保育士 新妻洋代

今年は、春にさつま芋の苗を植え、秋に収穫するまでの一連の流れを通し、食育活動を行いました。



5がわ さつま芋苗植え



保護者の方のお手伝いの下、苗植えを実施しました。手作りのじょうろに水を入れ、苗を持ち出発!! 大きな畑に小さな苗「大きくなあれ」と願いを込め、皆さん1本1本丁寧に水を撒いていました。水が流れる様子を入園者の皆さんは、じっと見つめていました。

うらかな
音



Myuクラブで何度も「お芋ができるまで」のお話をしました。いつでもお芋の様子が解る様3病棟ホール利用して日記をつけちゃおう!! たくさんお散歩行こうね。



10がわ 収穫



収穫の
喜び

実りの秋

いよいよ収穫祭!! 連日の雨で土はぬかるみ、長靴を履いた足が思う様に動きません。それでも、入園者の皆さんの笑顔を見たいから がんばるぞー!! 畑一面のいもづるを、保護者の皆さんと一緒にかき分け、よいしょ、よいしょ…穫れたお芋は、横綱級最大2700グラムもありました。畑を掘った土の香りが一面に漂っていました。大きく伸びたつるは、葉をとり、しっかり持ちがえります。

ケーキ作り



食欲の秋



部屋中に広がるお芋の香りに皆さんおいしそうに食べていました。

粘土製作



芸術の秋

10月末の「秋祭り」では、収穫した大きなさつま芋でモンブランを作り、保護者の皆さんとおしく頂く事が出来ました。秋祭りでは、グループ毎に芋掘りをしたり、紙粘土のモンブランにデコレーションをしたり、さつま芋料理やさつま芋の栄養の話に花が咲いたり、と盛りだくさんの内容でした。自然との関わりの中での食育は、とても気持ちのいいものです。来年も楽しい企画が出来るといいですね。(栄養士 加藤すみ子)



12がわ リースアート

昨日の芋掘りを思い出しながら、いもづるでクリスマスリースの製作です。今回は、ちょっぴり工夫してミッキーマウスの形に挑戦。皆の部屋に飾ってもまだまだ余る程…そうだ!! 希望館前に飾れる様大きなリースを作ろう…サンタさんが来る様に…星に願いを込めて。大きなリースは、星型に決定。皆でお散歩しながら集めた木の実、バケツで作った稲穂も飾ろうね。皆でお散歩しながら。



稲穂収穫

リース製作中です



ミッキーマウスリース



星形リース



保護者、ケースワーカー他たくさんの方と一緒にリースに飾り付け皆のお話を聞きながら入園者の皆さんはとてうれしそうでした。

新年の御挨拶

園長 柳 沢 俊 郎

明けましておめでとうございませう。

まずは大過なく皆さんと新年を迎えることができて、とてもうれしく思います。

今年も皆さんにとりまして幸せに満ちた一年になることをお祈り申し上げます。

さて昨年一年を思い返すと昨年1月の時点では考えもしなかったことがいろいろ起きた、まさに混乱の一年でした。その中でも第一

は政権交代とそれに伴う障害者福祉制度全般の見直しでした。そして予想外の出来事

の二番目は新型インフルエンザの大流行でした。

まず政権交代ですが公約通り障害者自立支援法は廃止となり、平成23年に予定

されていたこの法律の見直しも無くなりました。あれ

ほど関係者がドキドキして行方を心配していた見直し

でしたが、綺麗さっぱり消えてしまいました。そして

現政権は障害者制度改革推進本部を立ち上げて新たな

施策の検討に入る事になっています。新聞報道によると1月には検討開始となる

す。今までの心身機能を見る「医学モデル」から、社会参加するために支援やサービスを提供する人を障害者として考える「社会モデル」にその定義を変える

方向の様です。こういう根本的定義から従来とは異なる発想でとらえ直す事や改

革推進本部の立ち上げ時に国連障害者権利条約の批准作業を指示した事には注目

しています。新しい施策は以前の障害者自立支援法とは背景の思想や理論がかなり異なるものになるかもしれ

ません。

この様な状況において世界に類を見ない「重い障害のある子供達」を守るための従来の施策がどう評価さ

れ、どのように新たな福祉制度で対応していくのかとても心配です。実際にはも

し制度が大きく変わっても急激な変化では現場の混乱が予想されるために緩和措

置が取られ短期的には対応できるでしょうが、中長期的には施策の見直し不良の

ままに施設側は動きがとれない現在の状況が続く可能性もあると思います。

お話しは変わって、昨年

の予想外の出来事二番目の新型インフルエンザの夏以降の大流行です。療養園利用者

の皆さんにも院内感染予防のためにいろいろ御協力をお願いいたしまして感謝して

おります。お陰様で療養園利用者間の感染は無かつたと判断しております。新

型インフルエンザは小児での感染力は強かったのですが、今回の対応でも有効な

予防策となる事が分かりました。行政サイドの混乱もあり、療養園内部でも対応

策は毎日の様に変わりました。顕在化しながら未解決で残っている問題もありま

すが、今後の院内感染防止の上で大いに参考になりました。心配されている高病

原性鳥インフルエンザ流行時の対応を考える上でとても意義がありました。

この二つの出来事はまだ進行中ですし、今年もまた

新たな課題も出てくると思います。こういう状況なの

ですが、この中で何かしら一つでも障害を持つてい

る子供達のために前進したいと思っています。



「ねむの木賞」を受賞して



総看護師長 星 邦子

昨年十一月五日、東京の高輪プリンスホテルにおいて股体不自由児協会による「ねむの木賞」「高木賞」の贈呈式が執り行われました。

受賞するにあたっては私個人というより今まで入園児のため、長年つくされてきた職員への賞と思ひ、代表して出席させていたいただきました。当日はあまり緊張もせず無事終了したのですが、受賞後時間が経つにつれ大変名誉ある賞をいただいたという実感が湧いてきました。

今までの事を振り返ってみますと、私がこの「光の丘」に来ましたのは二十二年前になります。公立の総合病院であわただしくも充実した仕事をしていた。それでも心の奥では看護の原点に触れるような仕事がい

たいという思いがありました。療養園を知り勤務する事になりましたが、こどもは大好きでしたからすぐに溶け込む事ができました。しかし、思いとは違った現実にもぶつかり多くの課題もありました。そんな時、心の支えになり前向きな気持ちにさせてもらったのは、こどもさん達の笑顔や純真な心でした。それは私の心に十分に浸透して、人間的な成長も価値観や人生観まで変わったと思います。

自分自身が素直な気持ちでこどもさん達一人ひとりに接すれば、必ずきらりと光る個性に触れる事ができます。そして、思いやりのある手、やさしいまなざしを注げば、こどもさん達からお金ではかえないごほうびを与えてもらえるのです。今回の「ねむの木賞」もこどもさん達からのごほうびだと思つたのです。

今まで「療養園」で看護させていた感謝の気持ちで一杯です。あつがとていきました。

今年度、当園入園中の3名の方が 成人を迎えられました

田中侑加さん、大瀧心さん、渡辺勇さん
ご成人おめでとうございます。

侑加さん、心さんのお母さんより素敵なメッセージを
頂きました♪



病棟で行われた成人式の一コマ

成人式を迎えるにあたって、感慨深い気持ちでいっぱい
です。

侑加と一緒に二十年…早いような、そうでもない様な、
でもあつという間にというのが正直な気持ちです。侑加の
成人式まではがんばって長生きすると言っていたおばあ
ちゃん、小さい頃からたくさん面倒を見てくれた私の姉、二人
が続けて亡くなってから二年が経ちます、気持ちが落ち込
んでいたとき私に元気をくれたのは侑加の笑顔です。離乳
食のときから使っている食器があります、ゴマすりみたいな
器で音を聞くと美味しいものが貰えると思って声を出して
笑うんですよ、周りの人がつられて笑うくらい…。侑加が私
に勇気と元気を与えてくれました。

たくさんの方々の協力をえて仕事を続けながら一緒に居
られることを感謝しております。これからもどうぞ宜しくお願
い致します。

田中侑加さんのお母さんより

療護園に入園し、丸11年になる今年、心も成人式

を迎える事になり、つくづく年月の早さを感じます。

入園時にはいきなりの環境変化に本人は口に出せ
ないながらも不安があった事と思います。そんな息
子も家族一の長身になりました。家族に取っては幼
いイメージのままですが、一番感慨深い成人式です。

心ちゃん、成人式おめでとう。

大瀧心さんのお母さんより

Happy通信

今回のHappy通信では、
20才を迎えた3病棟の3名とご家族、
また職員のハッピーをお届けします。

療護園カップルが誕生しました!!

平成21年秋。

療護園で出会った2組のカップルが入籍。

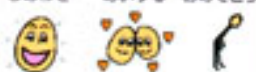
子供たちからお祝いの言葉をもらいました。

♡佐藤俊輔さん♡
(リハ工士/旧姓 中摩)
♡静香さん♡
(OT)



コミュニケーションノート
を使って「おめでとう」の
メッセージ

しあわせ あいする おめでとう



しあわせになってね、
けっこん(あいする)
おめでとう!!

すずきりなより



東一さん
橋本さん
結婚おめでとう♡

2人がつきあってること
しらなかったから、
えー、そうなの?って
おもった。
しあわせになってね。
よこやま たくみより



トーキングエイドなどの周
辺機器を使ってパソコン
を操作し、コメントを寄せ
てくれました。

♡橋本東一さん♡
(OT/旧姓 佐々木)
♡真希子さん♡
(PT)



✿ 末永く幸せに ✿

これからもいろんなHappyをお届けします。どうぞ期待!!!

りょうご園について ご存知ですか？

リハビリテーション科について

安全で楽に食事が行えるよう、食べ方の練習や、安全な食事形態・介助方法を検討します



スプーン操作の練習をします。また、食事環境(椅子、食器等)を整えます



遊具や玩具を使って、手の使い方やお着替え等を練習します



ST

ことばや発音の発達が促されるよう、個別指導を行っています



OT



座位保持がむずかしい方の椅子など様々な道具を作成し、姿勢管理の指導を行います

PT



障害を自己管理できるように自主トレーニングを指導しています



家庭で毎日行える体操をご家族に指導しています



お子さんが持っている最大能力を引き出すため、発達運動学的治療を行います



まっすぐな脊柱を保つ管理の一環として立位訓練を導入しています

スタッフ通信

りょうごえんカフェへ
ようこそ



このコーナーでは、当園のスタッフが好きなこと、気になることなどなどを自由におしゃべりします。スタッフの新たな一面がわかるかも!? 第3回は事務の渡辺コウ子さんです。



私の人生の楽しみは、「旅」です。

一言で旅と言っても、日帰りの小旅行から海外まで様々です。

先日、韓流好きが高じて念願の憧れの地「韓国」へ…何とラッキーな事にエコノミー料金でビジネスシートで(笑)…旅して参りました。

賑やかにも女性四人旅は、世界遺産を始め、宮廷グルメの堪能、韓流ドラマのロケ地等々盛りだくさん。特に、美容大国のエステ体験は、汗蒸幕・ヨモギ蒸しーあかすりへとアレヨアレヨと言う間に「まな板の上の鯉」状態…新鮮で驚きの感覚?! でした。お肌しっとり、ツヤツヤの大満足(笑)もちろん、お買い物も時間を忘れて買いく、重量オーバーのハブニング★満喫の癒された旅でした。

家族、また皆様に感謝しつつ、また何時か何処かへ旅する事を願いながら、毎日精進していきたいと思ひます。



編集後記

寒さも緩み、上着も一枚薄くなりつつある今日この頃。改めて今年の冬を振り返ると、雪にヒヤッ?としたのも記憶に新しいですが、いわきでは何十年ぶりの大雪といっても大袈裟でない程。備えあれば憂いなしとはよく言いますが、スタッドレスタイヤを装着せず焦った方も沢山いたのでは? 粉れもなく私も……。しかしながら、しんしんと降り積もる雪を見て童心に返り、心は「わくわく」。翌朝、車のハンドルを握る手は「どきどき」といったところでしょうか。

(藤)